

(三) 新造船計画並水底塗料等之點元社、功利主義以下清貧關係、眞相。

(1) 本社幹部ノ功利觀念ハ造船計画三閑ル海務課、總務課、依ノヲ察知スルヲ得ル、チテ

其、顯著ル實例トシテ、昭和十六年九月、郵便空船期船トシテ、國家ノ補助ヲ受ケテ、我ノ海運ニテ之重大ナ使余ノ有る経営

路新造船計画ニ嘉之重ノ當面、責任者名海務課ノ公文、空手記、並テアル

即チ公文申一部ヲ尾接於ルニ、

「航海上甚開故障、湖頭本船ニヨリシト一本スルリテレフシタレ、豫備ヲ持メセ置ケハ「オーレ」

ヨンタブ、」費達也。現今是惡ノ場合、豫習スルモ本船路ニ於テ弟般及修繕、為メ、甲山主要

スル事ナカルヘント、

即チ最支安金性ニ顧慮ス、又海務課ニ集金率三分、一ナル單輪車船ヲ主張シ而之航運不豫備各々
ワセソトシテ、故障起ラハ完航ニ依ソテ修理場立航行セシムトハ、次ニ戰時ハ勿論、平時ト雖エ断リ

テ黙新シ得サルトコニシテ、未勇、失命、無視大ルミナス、然社ノ懷疑的國家的保全ノ名シ見

功利ニ終始也其、指導據リカ赤裸々ニ端規如シ得ルハ怖ルヘキ事實テアル、

1ペエントレーノ件、

吾社ヲ使用ルヤホントレーノ色々ノ種類、アリ、又製造者ミ異ナシ、店ハ問顔ニテノハ船底
ノ塗料ヲ納入者ハ出マリニ（現在東京ペイント会社）及高田塗料会社、テアル、
然ニヘエントレーハ他ノ船用品ト異ナリ、公文、ナビテ（社報）達空令サレ特ニ「オベリンペント」ハ
ソノ總裁、ナモノアリカ、アリ、マエントレタニヤ、不良好、エント、断定、セサク得ナシ、アリ、
即チ優秀ノ型新荷物板等、船長良丸ハ所空速力ナハ涅、處シテ船底塗料トシテ為メニヤ、涅ヨリ
出テ、逆信者、嚴重標登ニ依リ想異、「オベリンペント」為メニ船底、勝出部ハ剝落シ船体抵抗
シ増ニタ結果テアルトサジ同塗料ノ覆スル、當然也、ガニミ拘ラヌ特、軍事ハソノ使用ナ基準ニ、居程
ノスノアリニ拘ラヌ、居程ニ今尚使用シ、鷹シテ高田塗料会社ハ、環艤御方密接ナ關係、有シテ
居ルハ大事ヲ知ラス、情急下、功利ニドフルモノト思シル、アリ、コノ調査部ニ對応疑惑ト
幹部、態度ハ祐内、人心ヲ動搖セシメ功利ノミニ度を密輸、原因トえナシ、

(四) 密輸入

近年我社ハ、海外出先地ニ於テ屢々密輸入問題、起シ、本來信義、以テ世界ニ臨、貿易ル、我が國体ヲ失墜シ
シト共ニ莫大ナル罰金ヲ適用、徵收セラル、失態ヲ坐ス、アリ、
例ヘハ田代十年以來、利得、リ、累輸、革半失、（利、四セラレタモ）ア左ニ列傳也バ、

（1）モルヒネ、ヘロイシ、アヘン、密輸

元供父九、大夫、萩原、己、徵役、一月

元供間九、油差、多々良、靜男

（2）全、元供父九、大夫、萬野與之助、徵役、一月、
元上海九、大夫、桂田、清、徵役、一月、
元供間九、油差、多々良、靜男

（3）元供間九、油差、平右、徳一、徵役、一月、
元上海九、大夫、桂田、清、徵役、一月、
元供間九、油差、多々良、靜男

（4）元供間九、大夫、萬野與之助、徵役、一月、
元上海九、大夫、桂田、清、徵役、一月、
元供間九、油差、多々良、靜男

（5）元供間九、油差、平右、徳一、徵役、一月、
元上海九、大夫、桂田、清、徵役、一月、
元供間九、油差、多々良、靜男

八、